

総合

『卒業後の生活に向けて②』～先輩に学ぼう～

修学旅行報告会を7日に終え、気が付くと、2学期もあと1ヶ月程となりました。今年度の3年生は全員が高等部進学を目指しています。今回の学習では高等部卒業後の生活について、実習支援員さん3人から、楽しみなことや目的をもって生活することの大切さ、中学生の時にやっていて今役立っていることなどの話を聞きました。自分ができそうな活動にチャレンジしようと、食器洗い、ジャージやタオルをたたむ、タオルやTシャツを干すに取り組みました。間もなく願書の学習も行い、進路についての意識が高まる時です。冬休みの生活を含め、家庭でも自分でできそうな活動に積極的に取り組めるようにしていけるといいですね。



よく見て、たたむよ。



胸の前でたたむに挑戦。



ハンガー掛け、肩の部分が難しいな。



内側も外側も、きれいに洗いました。



泡が残らないように、しっかりすすぎました。



しわにならないように、タオルはしっかり伸ばして干しました。



つぶやき

三十数年の教師生活で、卒業学年の子どもの急成長に驚かされる時があります。その一つが修学旅行後。ほんの数日家庭から離れただけなのに、子どもにとっては、友達の姿をずっと見て自立心が育つのでしょう。その後は自分で起床、給食セットを自分で洗う、荷物の片付けや準備を自分で行うなどの姿を、御家庭からの連絡ノートで報告を受けることが多くありました。卒業式前になると身だしなみの意識がアップ。ベルトやネクタイ等の練習に励む、自主通学と子どもなりに「進路」を意識した行動が見られます。こうした姿に、大人も一緒に寄り添っていきたいですね。